

国際ロータリー第2730地区

# 高鍋ロータリークラブ 会報



会長 坂田 師通  
副会長 青木 善明  
幹事 橋口 清和  
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
例会場 ホテル泉屋 2F  
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4  
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

## 第2035回 平成30年9月6日プログラム

- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| 1. 点 鐘                   | 7. 月初めのセレモニー |
| 2. ロータリーソング<br>君が代・奉仕の理想 | 8. BOX披露     |
| 3. ビジター・ゲスト紹介            | 9. 委員会報告     |
| 4. 会長の時間                 | 10. 次週例会案内   |
| 5. 幹事報告                  | 11. 点 鐘      |
| 6. 出席報告                  | 12.          |

## 高鍋ロータリークラブテーマ

『ロータリーの心を地域の人に届けよう』

第2730地区ガバナー 川原 篤雄  
中部分区ガバナー補佐 安田 秀一  
RI テーマ 『インスピレーションになろう』  
地区テーマ 『プラスワンの考動を』  
9月の月間テーマ  
基本的教育と識字率向上月間・R友月間

## 本日の例会案内

- |             |        |
|-------------|--------|
| *月初めのセレモニー  | *米山ランチ |
| *会員卓話—三原君   |        |
| *雑誌紹介—松尾君   |        |
| *例会終了後理事会開催 |        |

## 次週例会案内; 9月13日 (2036回)

- \*夜間例会  
\*クラブ研修会&懇親会  
於; ホテル泉屋  
18:30~

## 第2034回 例会内容 (8/30)

### ☆会長の時間

会長 坂田 師通 君

今日は、マキシミリアノ・マリア・コルベ神父様の話をします。皆様の中には、遠藤周作の小説などでコルベ神父様のことを知っておられる方は多いと存じます。第二次世界大戦末期、アウシュビッツの強制収容所で餓死刑に選ばれた男性の身代わりになったことで知られ、「アウシュビッツの聖者」と呼ばれている方です。コルベ神父様は1894年1月8日に当時ロシア帝国の衛星国であったポーランドのズドウニスカヴォラで生まれています。大変カトリック信仰の厚い家庭に生まれたようで、1907年にフランシスコ会に入会しておられます。大学にも進学され、哲学と神学の学位も取得しておられます。その後「無原罪の聖母の信徒会」を設立し、1927年「無原罪の聖母の騎士」という小冊子を発行し、宣教活動をされるようになられました。



1930年4月24日、36歳のコルベ神父様「穢れなき聖母マリアを全世界の人々に示す」という大きな夢

を持ち、東方への宣教に乗り出し、その場所が長崎でした。そこで日本語版の「無原罪の聖母の騎士」を発行しました。興味あることに長崎では永井隆博士と医者と患者という関係で交流があったようです。

1936年にポーランドに帰国されましたが1939年にポーランドはドイツ軍に占領されました。ナチスは彼の説くカトリックの教えとナチスの思想は相反するとして、1941年2月17日、ゲシュタポに逮捕され、夏にアウシュビッツの強制労働に就かされるようになりました。

収容所において、同じ班の囚人から脱走者出たため、収容所所長は無差別に10人を選び餓死刑に処すると宣言し、10人が選ばれました。その10人中にいたのがポーランド軍軍曹フランシスコ・ガヨヴィニチェクでした。彼は突然妻子を思って泣き崩れたのでした。その時、囚人の中から所長の前に進み出たのがコルベ神父様でした。「私はカトリックの司祭であり、自分は妻子あるこの人の身代わりになりたいのです」と話をされました。所長は驚きのあまり、すぐに言葉が出ませんでした。「よろしい」と答え、ガヨヴィニチェクを元の列に戻し、黙り込んでしまったそうです。

その後、神父様は他の9人と共に「死の地下室」と呼ばれる餓死監房に連れていかれましたが、通常は叫びや呻き声が聞こえるのですが、コルベ神父様が監房に入っ

てからはロザリオの祈りや讚美歌が聞こえたと言ひ、仲間の臨終を見送り、<死の地下室>は聖堂に変わったと言われています。2週間後神父様を含めて4人が生存していたのですが、注射を打たれて永遠の眠りにつかれました。47歳でした。

聖書は「人がその友のために命を捨てること、それより大きな愛はない」と教えます。第二次世界大戦という人類最大の悲劇の中で、コルベ神父様の英雄的な姿は、決して忘れてはいけないものと私は思います。

☆幹事報告<文書案内>

幹事 橋口 清和 君

\*地区大会プログラム変更とクラブ旗について

\*中部グループ会長幹事会案内  
日時 2018年10月18日(木)  
18:30~

場所 ホテルメリージュ3階

\*佐土原RCよりゴルフコンペのご案内

日時 2018年10月7日 集合8:50 スタート9:30  
プレー料金 9,000円

場所 愛和ゴルフ宮崎クラブ 参加費2,000円



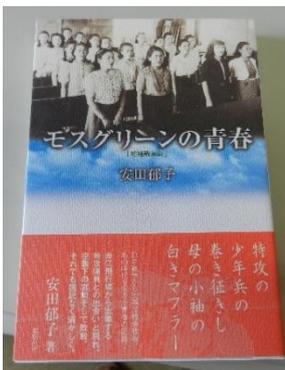
ソングリーダー 多賀君 & ピアノ演奏 森幸子さん



ボーリング大会団体優勝チーム

☆外部卓話

安田郁子様



岩切君



鍋倉君



三原君



中武君



坂田君



副SAA 桑野君



クラブ研修委員長 岡島君

■BOX披露 親睦活動委員長 長谷川修身君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

【坂田師通君】安田郁子様本日はありがとうございます。先日のボーリング大会にて敢闘賞を頂きました。ありがとうございます。長谷川委員長に感謝申し上げます。



【橋口清和君】足を引っ張ったのにグループ優勝！桑野さん横山さんに感謝いたします。安田様をお迎えて。

【桑野倫夫君】ボーリング大会では優勝したそうで。ありがとうございました。

【中武泰一郎君】ボーリング大会では目に余る成績でしたが。会長の上をいってしまいました。申し訳ございません。

【岩切洋君】先日はボーリング大会お疲れ様でした。空気の読めない私はまたやってしまいました。“優勝”ありがとうございました。

【鍋倉春代君】会長・幹事の慰労会お疲れ様でした。私ボーリング大会で2位の成績で賞を頂きました。ありがとうございました。

【長浜博君】皆さ～ん、会員増強月間です。川上副委員長からもお願いがあったと思います。どうかご紹介の程お願い申し上げます。

【松尾正博君】ようこそ高鍋ら一たりクラブで卓話をしていたいただきありがとうございます。いつまでもお元気でご活躍をお祈りいたします。

【藤本範行君】先週は欠席してすみませんでした。本日は安田様のお話を楽しみにしています。

【長谷川修身君】先日はボーリング大会、新年度親睦会及び新会員歓迎会に多数参加していただきありがとうございました。

【多賀学昭君】安田郁子様をお迎えて。厳しいお盆の行事も何とか乗り切りました。感謝を込めて。

【横山隆君】先日のボーリング大会と心温まる歓迎会、ありがとうございました。また、本日の新入会員研修会でのご指導宜しくお願い致します。

■出席報告 出席副委員長 長野孝吉君

出席報告 (8/30)

正会員総数	44名
出席会員数	35名
ホーム出席率	81.40%
修正出席率	83.72%



夜間例会&クラブ研修会・懇親会のご案内

日時 2018年9月13日(木)  
 例会点鐘 18:30  
 クラブ研修&懇親会  
 例会終了後～20:30

場所 ホテル泉屋 2階例会場  
 会費 2,000円

「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

付記：「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということ、RI理事会の意見が一致している。

『メイクアップしましょう』

中部グループ・クラブメイクアップ会場

出席委員会

月	宮崎南 宮崎東	宮崎観光ホテル西館8階 ニューウェルシティ宮崎
火	宮崎 西都	宮崎観光ホテル あかのや
水	宮崎北 佐土原	ホテルマリックス ワールドコンベンションセンターサミット
木	宮崎中央	ワールドコンベンションセンターサミット
金	宮崎西	宮崎観光ホテル